



サノヤスホールディングス株式会社

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

2026年1月29日

Sanoyas



1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. トピックス

1.決算概要



サンヤスホールディングス株式会社

(百万円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	2026年3月期 予想
売上高	15,961	18,972 (18,163)	3,011 (2,201)	27,000
営業利益	38	731 (666)	692 (628)	800
経常利益	118	780	661	800
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	169	751	582	700

※ () 内は、2025年6月にグループ入りした株式会社小寺電子製作所及び、
2025年7月にグループ入りした株式会社ヤマガタ共同の2社を除いた数値。



1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. トピックス

2-1.セグメント別業績・概要



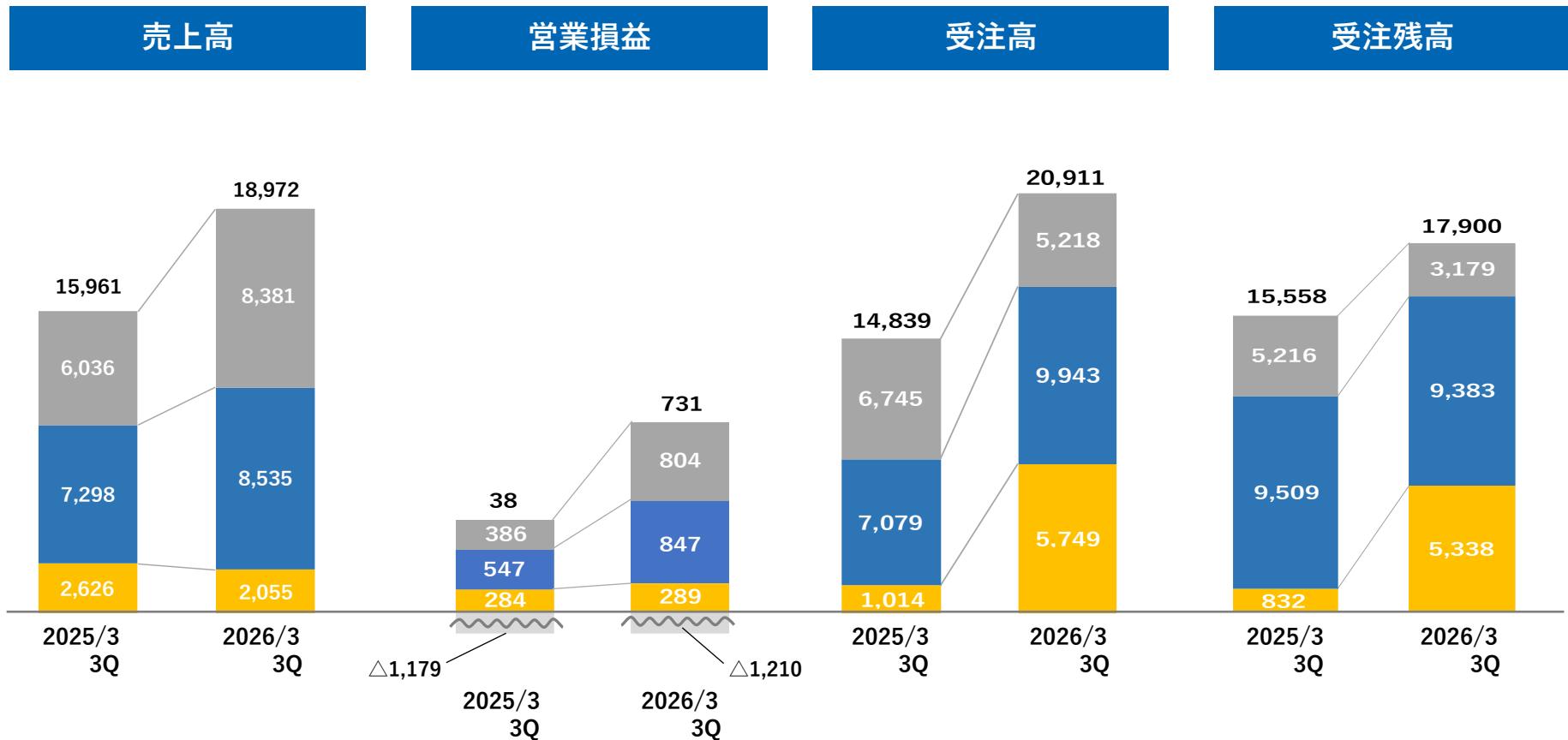
サンヤスホールディングス株式会社

増収・増益、受注高・受注残高増加

- ・売上高は乳化・攪拌装置の製造が好調に推移したことに加え、2025年6月よりグループ入りした株式会社小寺電子製作所の売上高が寄与したこと、空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や機械式駐車装置の製造及びメンテナンスが引き続き堅調に推移したことから、大幅な増収
- ・営業利益は増収に伴い黒字に転換し、大幅な増益
- ・受注高・受注残高は大口の遊園地遊戯機械設備の複数受注に加え、大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や建設工事用エレベーターの製造、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスの受注が堅調に推移した結果、大幅増加

■ 製造業向け
■ 建設業向け
■ レジャー
■ 本社部門

(百万円)



製造業向けセグメント

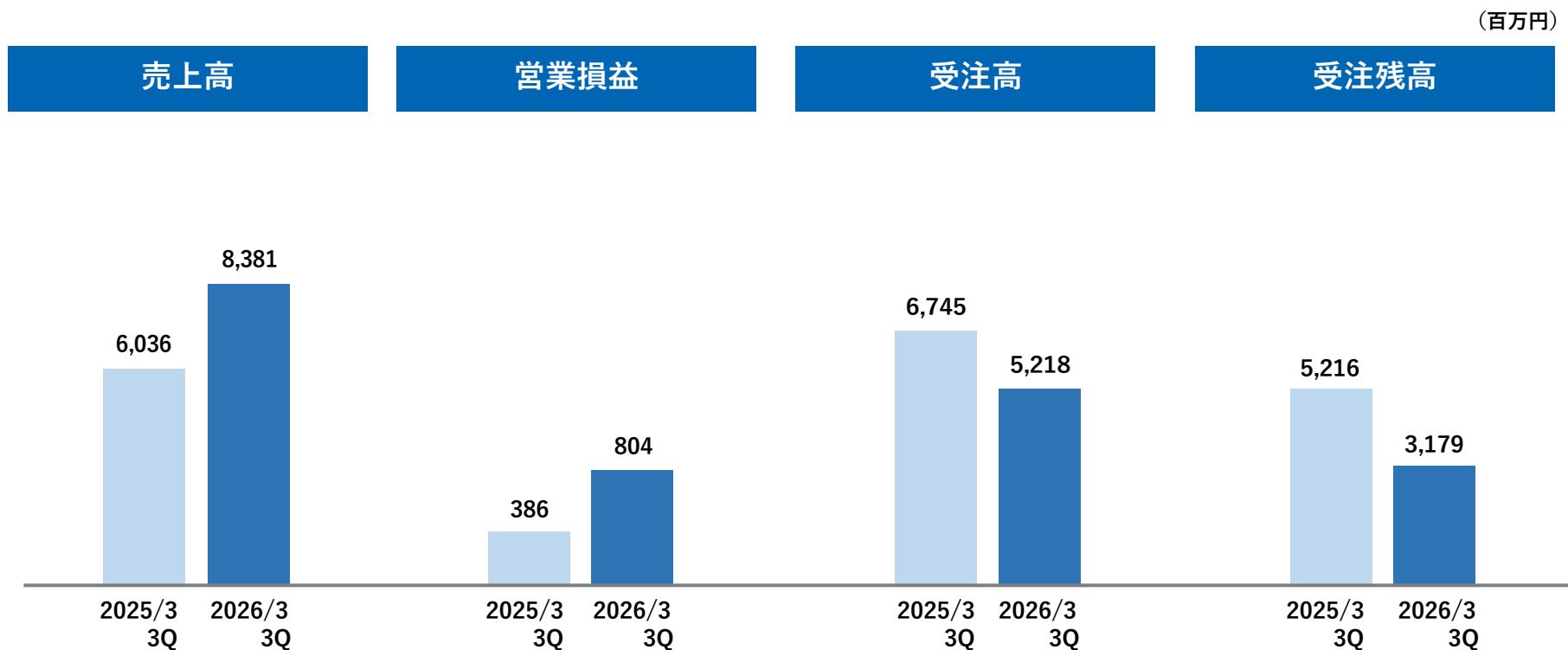


2-2.セグメント別業績・製造業向け



サンヤスホールディングス株式会社

- ・売上高は乳化・攪拌装置の製造で大口案件の引き渡しがあったことに加え、2025年6月よりグループ入りした株式会社小寺電子製作所の売上高寄与による大幅な増収、営業利益は増収に伴い大幅な増益
- ・受注高、受注残高は前年同期に受注した大口の乳化・攪拌装置の製造案件が完工した反動で減少



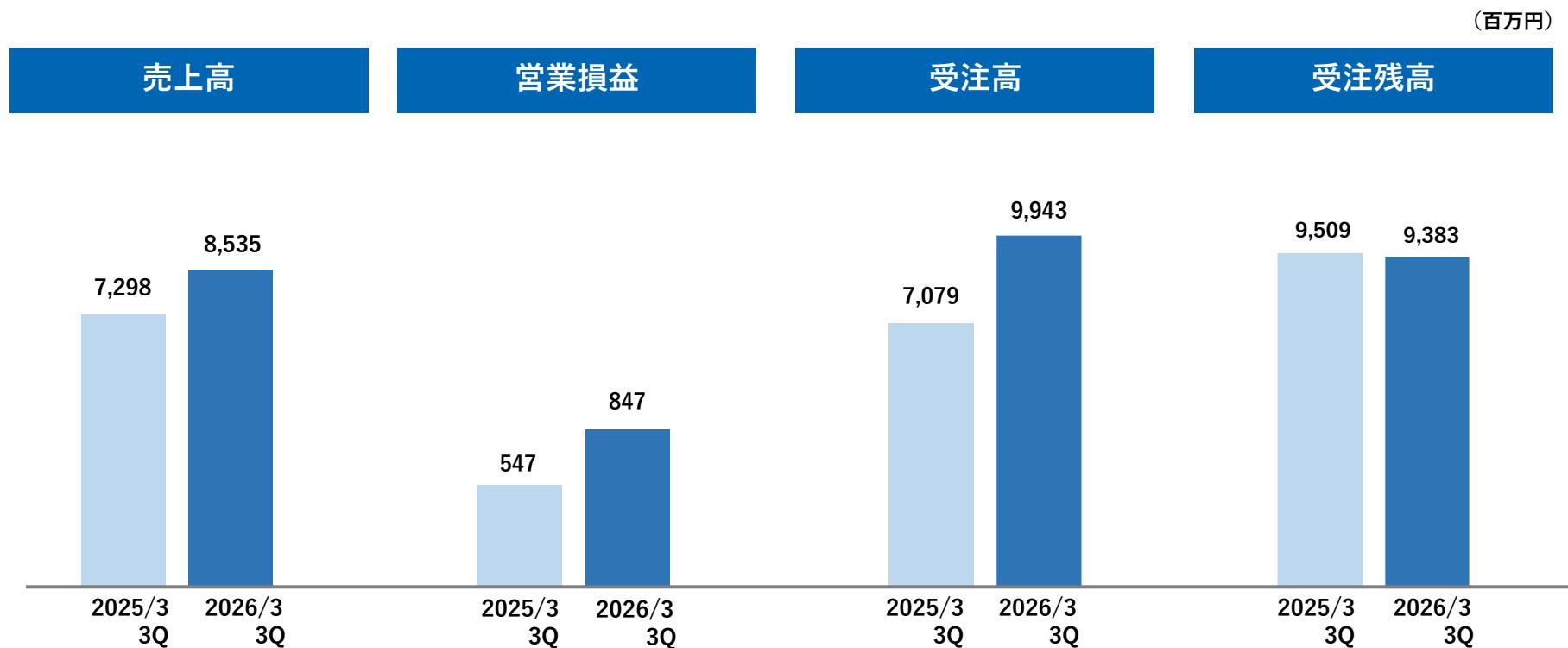
建設業向けセグメント



2-3.セグメント別業績・建設業向け



- ・売上高は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や機械式駐車装置の製造及びメンテナンス、建設工事用エレベーターの製造及びレンタルが好調に推移したことにより増収
- ・営業利益は空調・給排水・衛生設備の設計及び施工や大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造が堅調に推移し増益
- ・受注高は大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の製造や建設工事用エレベーターの製造、機械式駐車装置の製造及びメンテナンスが好調に推移し大幅に増加
- ・受注残高は大規模施設向け動力制御盤・分電盤・配電盤等の工事が進捗したことにより僅かに減少



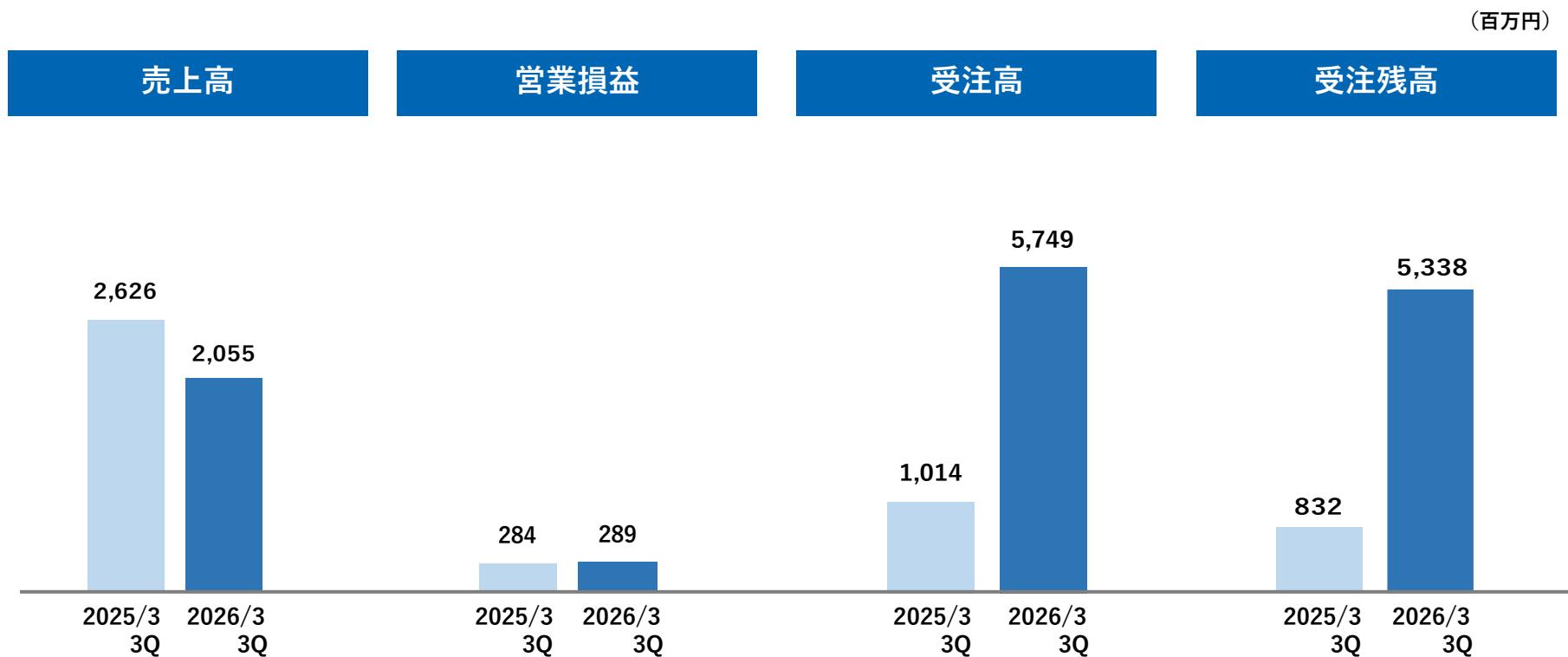
レジャーセグメント



2-4.セグメント別業績・レジャー



- ・売上高は前年同期に大口の遊園地遊戯機械設備の製造があった反動で減収となったが、営業利益は利益率の改善により増益
- ・受注高、受注残高は熊本県のグリーンランドに大型のジェットコースター導入が決まったことをはじめ、複数の大口遊園地遊戯機械設備を受注したことにより大幅に増加





1. 決算概要
2. セグメント別業績
3. トピックス

サノヤス・エンテック（旧 山田工業株式会社） 創業100周年を迎えました

2025年10月17日(金)、サノヤス・エンテックは創業100周年を迎えました。同社は1925年に大阪で管工事事業として創業し、現在は同事業を中心とした環境装置事業および医療廃棄物処理装置事業を展開しています。同月に大阪・東京の2拠点において創業100周年を記念した祝賀会を開催し、同社の発展を長年支えてきたOBおよび主要パートナー企業が参加しました。

-沿革-

- 1925年 ○ 山田文次、山田工務店として創業
- 1948年 ○ 山田工業株式会社に組織変更
- 1984年 ○ サノヤスグループに加入
- 2022年 ○ サノヤス・エンテック株式会社に社名変更
- 2025年 ○ 創業100周年



小寺電子製作所 キャスティング「C385G」の販売を開始しました

特殊用途 加工機シリーズ *Special-purpose processing machine series.*

キャブタイヤケーブルやフラットケーブルに特化した専門加工機

CASTING C385G

長尺ストリップ機 *Long strip machine.*

中小企業等経営強化税制の対象機種です

AWG#7 (10sq) ~ AWG#28 (0.08sq)

※但し、線材により異なります。Depend on the wire type.

ガイドパイプ内径(最大) **Φ12**

Guide pipe Inner Diameter(Max)



- ・ 線材の供給をベルトフィード方式で行うことにより、キャブタイヤケーブルやシールド線等に見られる表面が凸凹したケーブルを面で掴むことができ、安定した加工を実現します。
- ・ 切断をV刃で加工して、ストリップを丸刃で加工することで、内線に傷を付けません。ストリップは電線サイズに合わせた丸刃を使用します。
- ・ エアーリードによるベルトフィードの開閉動作は、操作パネルのスイッチにてワンタッチで行うことができます。
- ・ 安全カバーを標準装備。
- ・ 先端ストリップユニットを先端ベルトフィーダー部の近い位置に変更することで、被覆の伸びやすい線材の加工精度を向上させることができます。

サノヤス精密工業 2027年度、ロボット工場が生まれ変わります

生産能力の強化と従業員のよりよい労働環境の整備を目指し、本社工場のロボット工場および鍛造倉庫の建て替えを行います。

2025年11月着工、工事完了は2027年3月を予定しています。



【完成イメージ図】※三井住友建設株式会社様 ご提供

「大手前大学 経営学部」経営学入門の授業に 代表取締役会長 上田 孝がゲスト講師として登壇しました

2025年10月27日(月)、大手前大学の平野光俊学長がご担当される授業「経営学入門」のゲスト講師として当社代表取締役会長 上田 孝が登壇しました。経営学部1回生約200名を対象とした授業であり、全15回のうち6回目を担当しました。授業のテーマとしては「企業経営の事例」ということで「企業経営論」と「リーダーシップ論」を中心に企業経営の醍醐味や仕事のやり甲斐や楽しさについて講義を行いました。





サノヤスホールディングス株式会社

「確かな技術に まごころこめて」
人と技術を磨き、新たな顧客価値を創出する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。